

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告により行います。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりです。 http://www.kk-mitsuboshi.co.jp
定時株主総会	毎年6月	上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
基準日		証券コード	5820
定時株主総会	毎年3月31日		
期末配当	毎年3月31日		
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
電話照会先 インターネット ホームページURL	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html		

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

単元株式数の変更および株式併合について

平成29年10月1日を効力発生日として、当社株式の単元株式数(売買単位)を1,000株から100株に変更し、同時に普通株式5株を1株に併合いたしました。



ホームページアドレス <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザインの
文字を採用しています。

証券コード 5820



2017 Business Report

第73期 中間報告書

平成29年4月1日～平成29年9月30日



企業理念

三ツ星は「誠意・熱意・創意」を基本姿勢とし、
品質・価格・物流の最適化を図り、
お客様により高い価値を提供してまいります。

ポリマテック事業

お客様との共同開発で高付加価値製品を創造

ポリマテック事業部門ではお客様からの商品企画について、その構想段階から製品設計、試作等の共同開発を行い、製品を納入するという受注生産を基本としてお客様と共に歩む姿勢を貫いています。
主製品としては建築用ガasket類・手摺り・配線カバー・幅木などで、施工性の良さと品質面等で高い評価を得ています。
また、環境対応というテーマからプラスチック廃材の再生利用にも力を入れ取り組んでおり、社会的貢献の面からもその役割は重要なもので、更なる取り組みを推進しています。



電線事業

素材を究めた信頼性で 業界トップシェアを獲得

多彩な製品ラインナップ。あらゆる現場のニーズに対応します。
キャブタイヤケーブルをはじめとする各種電線は、天然ゴム・合成ゴム・プラスチックなどを主原料としています。三ツ星では、これら素材の特性を最大限に引き出し、つねに高品質な製品を生産し続け、多くのお客様より高い信頼を獲得してきました。これからも製品ラインナップを豊富に取り揃えることで、あらゆる現場でのニーズに対応。過酷な用途に耐え、作業の効率化や安全性、省コスト化に貢献できる製品づくりを目指します。



電熱線事業

電熱線分野で開発した高度の品質と技術を保有 高品質の製品とサービスを提供いたします

電熱線・抵抗線で線径0.04mmまでの極細線を量産製造し、品質面および技術面でお客から高い評価をいただいております。さらに、お客様のニーズに応えるため、0.02mmまでの極細線の製造も可能にしました。また、伸線および圧延のコア技術を多角的に展開し、モリブデン帯の製造やハステロイ、インコネル、インコロイといった高機能材料の伸線・圧延等にも積極的に取り組んでいます。



株主の皆様へ

To Our Stockholders

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第73期第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

代表取締役社長

塚本聡一郎



■ 事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策の効果もあって、企業収益や雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方、世界経済は、米国における政策運営の懸念や英国のEU離脱問題、アジア諸国の経済や地政学的リスクにより先行きは依然不透明な状況が続いております。

当社グループに関連する経営環境につきましては、設備投資は、円安基調や企業収益の改善を受け緩やかに回復してきております。また、公共投資も堅調に推移しているものの、新設住宅着工件数は、低金利で推移する住宅ローンに支えられるも横ばいの推移となりました。

このような状況の中、当社グループの売上高は、新規得意先の開拓強化や主原材料である銅価格が前年同期比で26%上昇したことなどにより前年同期を上回りました。

営業利益につきましては、高付加価値製品の販売量減少や販売費及び一般管理費のうち運賃運送費等の増加が影響し前年同期を下回りました。経常利益につきましては、前年同期に比べ為替差損は減少しましたが、原材料価格の上昇分を吸収できず前年同期を下回りました。

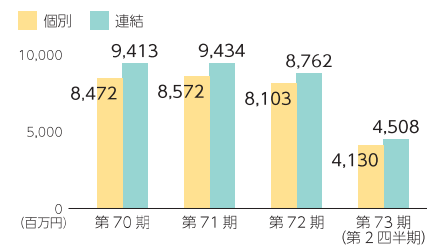
親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、東京支店・東京営業所移転に伴う土地等の固定資産売却益や税効果による法人税等調整額の計上により前年同期を大幅に上回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,508百万円(前年同期比6.7%増)、営業利益は231百万円(前年同期比16.9%減)、経常利益は226百万円(前年同期比6.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は337百万円(前年同期比108.0%増)となりました。

財務ハイライト

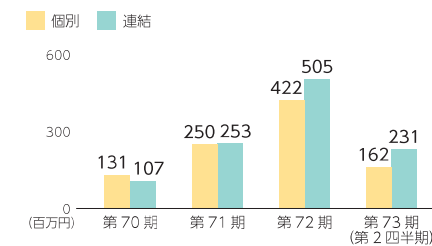
Financial Highlights

売上高



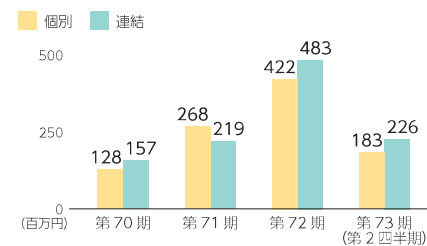
グループ全体で増収となったため、前年同期に比べ増収となりました。

営業利益



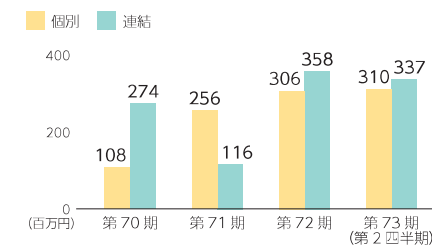
ポリマテック事業および電熱線事業では増益となりましたが、電線事業において減益となったため、グループ全体では前年同期に比べ減益となりました。

経常利益



前年同期に比べ為替差損は減少しましたが、原材料価格の上昇分を吸収できず、前年同期に比べ減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



東京支店・東京営業所移転に伴う土地等の固定資産売却益や税効果による法人税等調整額の計上により、前年同期に比べ大幅な増益となりました。

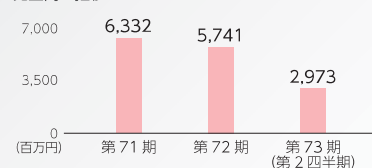
事業別の概況

Segment Information

電線事業



売上高の推移



商品紹介

業界トップシェアを誇る 【キャプタイヤケーブル】

600V以下の移動用電気機器、配線等に使用されるキャプタイヤケーブルを主製品とし、その他多目的産業用キャプタイヤケーブル、溶接用ケーブルなど、産業用電線なら三ツ星という定評をいただいております。

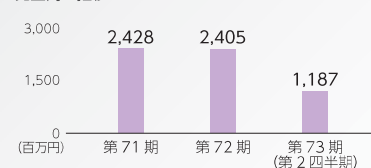
当第2四半期連結累計期間の活動報告

当事業の主要な市場である建設・電販向けの売上は、公共事業・設備投資が緩やかな回復基調にあるにも拘わらず、ゴム電線、プラスチック電線ともに前年同期比減少基調で推移しておりますが、一方、銅価格が前年同期よりも上昇している影響をうけて売上高は2,973百万円と増加しました。利益面につきましては、生産性の改善やコスト削減に取り組みましたが、プラスチック電線の原材料の値上げの影響を受けて営業利益は130百万円となりました。

ポリマテック事業



売上高の推移



商品紹介

オフィスから暮らしまで、幅広いニーズと市場住宅建材からOA機器分野、産業資材分野まで、省コスト仕上げの高品質により高い評価を得ています。木材複合樹脂やプラスチック廃材を再生利用した製品は、これからの環境対応というテーマからも注目されています。

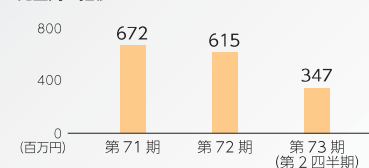
当第2四半期連結累計期間の活動報告

当事業に関連のある新設住宅着工件数が前年同期並みで推移しているなか、既存顧客への拡販及び新規顧客獲得に注力した結果、全体の売上高は1,187百万円となりました。利益面につきましては、生産性の改善や材料ロスの低減、コスト削減に取り組んだ結果、営業利益は63百万円となりました。

電熱線事業



売上高の推移



商品紹介

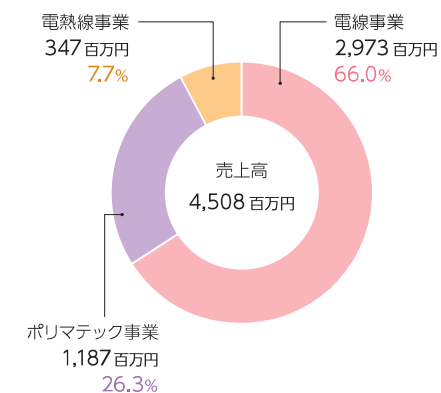
伸線・圧延技術力を活用した事業展開

どこの家庭にもあるヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫、テレビといった家電製品向け製品の他、自動車のシガレットライターや高圧ケーブル、電子機器向けの製品を開発するなど、幅広い分野での活用が期待されます。

当第2四半期連結累計期間の活動報告

当事業の主要な市場である白物家電向けヒーター用途において、一部受注が減少したものの、白物家電向けヒーター用途以外の開拓分野として取り組んできた、産業機器向け及び食品機械向けヒーター用途、抵抗器用途での需要増により売上高は347百万円となりました。利益面につきましては、比較的付加価値の高いニッケル系銅種及び帯製品が産業機器向けヒーター用途を中心に売上増となったことや生産性の改善に取り組んだ結果、営業利益は36百万円となりました。

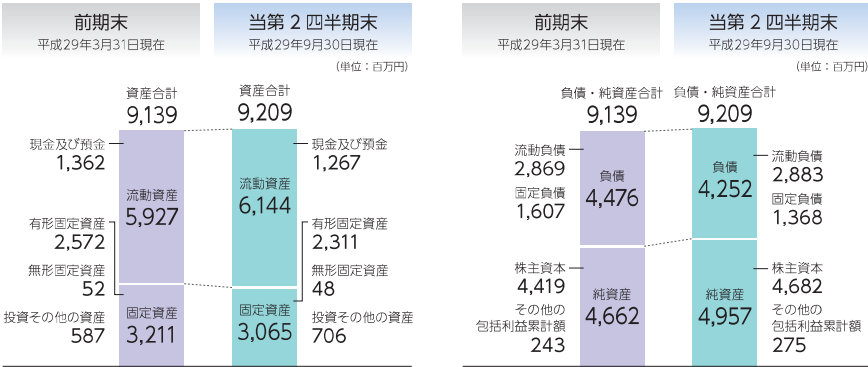
■売上高構成比



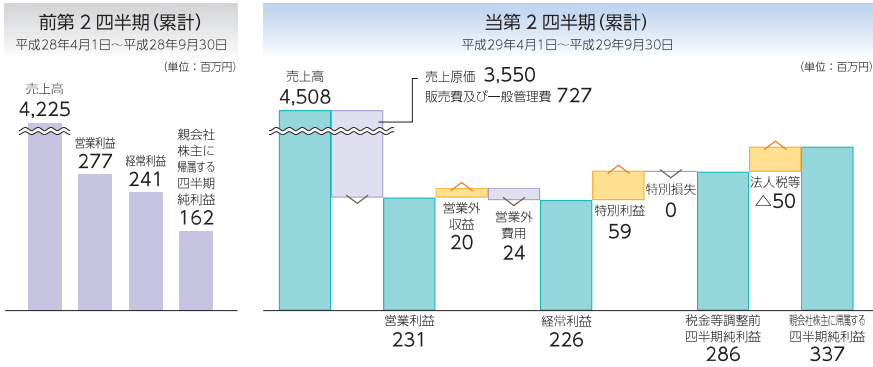
連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

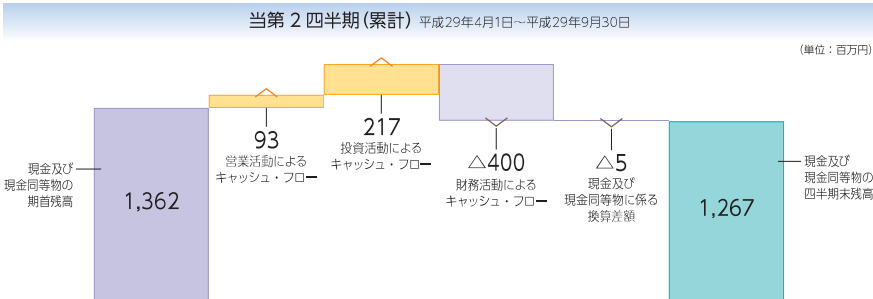
■ 連結貸借対照表



■ 連結損益計算書



■ 連結キャッシュ・フロー計算書



ポイント解説

- 総資産額
前期末に比べ、70百万円増加し、92億9百万円となりました。
これは主に、受取手形及び売掛金の増加があったことによるものです。
- 負債総額
前期末に比べ、2億24百万円減少し、42億52百万円となりました。
これは主に、長期借入金の減少があったことによるものです。
- 純資産総額
前期末に比べ、2億94百万円増加し、49億57百万円となりました。
これは主に、利益剰余金の増加があったことによるものです。

株式の状況／会社概要

Stock Information / Corporate Profile

株式の状況 (平成29年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 19,000,000株
- 発行済株式の総数 5,709,521株
(自己株式623,755株を除く。)

- 株主数 807名

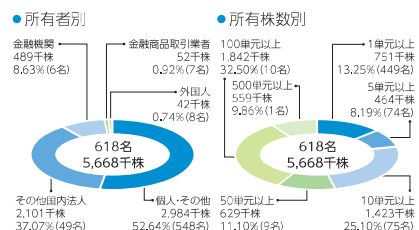
(注) 平成29年10月1日付株式併合により、発行可能株式総数は3,800,000株、発行済株式の総数は1,266,655株となりました。

- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ツカモト	559,000	9.79
スリースター有限会社	463,150	8.11
加藤清行	257,000	4.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	200,750	3.52
津田電線株式会社	193,261	3.38
三井住友信託銀行株式会社	147,000	2.57
舟橋盛彦	133,000	2.33
阿部須美子	132,000	2.31
西崎ひとみ	115,229	2.02
エスアールジータカミヤ株式会社	102,000	1.79

(注) 1. 株式併合前の平成29年9月30日時点の保有状況を記載しております。
2. 持株比率は、自己株式(623,755株)を控除して計算しております。

株式分布状況 (単元株以上)



(注) 1. 株式併合前の平成29年9月30日時点の保有状況を記載しております。
2. 持株比率は、自己株式(623千株)を控除して計算しております。

主要な事業内容

当社グループは、次の製品の製造・販売および仕入商品の販売を行っております。

事業部門	主 要 品 目
電線事業	天然ゴムキャブタイヤケーブル、合成ゴムキャブタイヤケーブル、架橋ポリエチレンケーブル、溶接用ケーブル、制御用ケーブル、プラスチックキャブタイヤケーブル、プラスチックコード、その他
ポリマテック事業	プラスチック押出成形品、射出成形品、真空成形品、高機能チューブ、LED関連商品、その他
電熱線事業	電熱線・帯、その他

役員 (平成29年9月30日現在)

代表取締役社長	塚本 聡一郎	執行役員	岡橋 一明
代表取締役副社長	競 良 一	執行役員	松山 元
執行役員	塚本 洋 一	執行役員	片岡 潤次
取締役執行役員	金城 安弘		
取締役	村角 末義		
取締役	中尾 巧		
取締役	辻 義夫		

(注) 1. 平成29年10月12日付で取締役会長(非常勤)塚本洋一氏は辞任いたしました。
2. 取締役村角末義氏、中尾巧氏および辻義夫氏は社外取締役であり、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

従業員の状況(当社グループ) (平成29年9月30日現在)

240名(58名)

従業員数は就業人員であり、パートおよび嘱託社員は()内に6ヶ月間の平均人員を外数で記載しております。

ネットワーク

Network



主要な事業所

当社

本 社 〒543-0001
大阪市天王寺区上本町五丁目3番16号
TEL 06(6762)6953(代表)

大 阪 支 店 (電線事業部)
大 阪 営 業 所 (ポリマテック事業部)

〒543-0001
大阪市天王寺区上本町五丁目3番16号
TEL 06(6762)6931(代表)
TEL 06(6762)6934(代表)

(電線事業部)
(ポリマテック事業部)

東 京 支 店 (電線事業部)
東 京 営 業 所 (ポリマテック事業部)

〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目2番1号
リーラック第一ビル
6F(電線事業部)
5F(ポリマテック事業部)
TEL 03(6897)8660(代表)
TEL 03(6897)8663(代表)

(平成29年11月27日に移転いたしました。)

九 州 営 業 所 〒815-0081
福岡市南区那の川一丁目9番19号
TEL 092(526)2615(代表)

仙 台 営 業 所 〒983-0044
仙台市宮城野区宮千代三丁目5番12号
桜木ビル1階
TEL 022(239)1271(代表)

名 古 屋 営 業 所 〒465-0095
名古屋市中東区高社1-253
一社プラザ4階402号室
TEL 052(760)4636(代表)

滋 賀 工 場 〒520-3306
滋賀県甲賀市甲南町柑子1061-3
TEL 0748(86)6104(代表)

羽 曳 野 工 場 〒583-0867
大阪府羽曳野市河原城534番地
TEL 072(939)4561(代表)

シルバー鋼機株式会社

本 社 〒140-0014
東京都品川区大井1-42-2
シルバービル
TEL 03(3773)9481(代表)

MITSUBOSHI PHILIPPINES CORPORATION

(フィリピン共和国) LOT11 BLOCK12 FIRST CAVITE
INDUSTRIAL ESTATE
BRGY.LANGKAAN,DASMARINAS,
CAVITE,PHILIPPINES4114